



■ Publisher : Kumamoto International Foundation 4-8 Hanabata-cho, Kumamoto City, 860-0806, Japan
Tel : 096-359-2121 e-mail : pj-info@kumamoto-if.or.jp URL : http : //www.kumamoto-if.or.jp/
■ 発行 : (財)熊本市国際交流振興事業団 〒860-0806 熊本市花畑町 4-8
Tel : 096-359-2121 e-mail : pj-info@kumamoto-if.or.jp URL : http : //www.kumamoto-if.or.jp/

国際ボランティアワークキャンプ in ASO 好奇心 + 行動力 = チャレンジャー

2009年、10月24日(土)、25日(日)、国立阿蘇青少年交流の家(阿蘇市一の宮町宮地 6029-1)で、高校生の「生きる力」を育むことを目的に、第4回目となる「国際ボランティアワークキャンプ in ASO」、通称「ボラキャン」が開催されました。広大な阿蘇に、県内を中心に九州圏内から高校生約100名が一堂に集い、そこに熊本大学等の留学生約50名も加わり、熱く語り合い、共に理解し合いながら友情を深めた思い出に残る二日間となりました。

準備 ~この二日間のために~

今年のボラキャンの企画は、例年よりちょっと遅れ7月に始まりしました。初々しい高校生1年生を中心に15名以上、昨年の経験者若干2名、少しの不安を抱えながらの船出でした。今年のテーマは、絆、かけ橋、チェンジ.. 色々な意見、アイデアの中から「チャレンジ」と決めました。

昨年、第3回目のテーマは「環境」でした。自然環境だけでなく、高校生が置かれる様々な環境、そんな中、自分たちができること、熊本高校のハンドインハンドの活動、芦北高校のフィリピンでの植林活動、必由館高校の書き損じ葉書、ペットボトルのキャップ集め、外国籍・中国帰国生徒の日本における経験から考える多文化共生社会など実際にある活動を取り上げ、同じ高校生である自分たちができることを話し合いました。「えっ、高校がこんなことができるんだ!」でも、反面、「私たちと同じ高校生ができるんなら私たちにもできるはず!!」となりました。ボラキャン後、エコバックを作り児童施設の子どもたちへ、門松を作り老健施設の年配の方々へそれぞれ訪問し交流するアクションプランに結びつきました。

今年は、普段の生活の中で見つけた気になること、感動もあれば課題もあるだろう.. 私たちの持つ好奇心を持ち寄り話し合い、何かできることを考えようというになりました。そして、行動する力を加え、参加者それぞれが「チャレンジ」をしていくこと! -これが今年のボラキャンのテーマです。



準備(実行委員会) ~夏合宿にて~

阿蘇の冷気が変えられていく

熊本市内からバスが阿蘇青少年交流の家に着き、受付で資料を入れた「阿蘇に集う高校生の楽しい様子」をイメージ、デザインしたエコバックを受け取った参加者たちが続々と会場へ入っていく。そして、24日(土)午後1時、実行委員長の内尾晶子さん(熊本高校1年生)の開会のあいさつで、第4回ボラキャンが始まりました。「二日間、短いですが、ここでの出会いを大切に、絆をつくっていきましょう。そして、私たちの好奇心をそのままにせず、行動を起こしませんか、チャレンジしましょう。」

第1回として開催された「国際ボランティアセミナー」からお世話になっています昭和女子大学教授 興侶 寛 先生に「ボランティアライ

フのすすめ ~ 私が変わる、社会が変わる」をテーマにお話しをいただきました。「ボランティアは、好奇心旺盛で探求心に満ちあふれて、永遠の価値を信じて世の中の風潮に流されることはない。自分と社会を見つめるたしかな目を持つ人びとだ。さりげなく「思いやり生活」を楽しみ、人や地球の役に立つなんて、とても素敵なことだと思いませんか? ボランティア活動は、あなたをピュア(純粋な心)な快感でつつんでくれるでしょう。ボランティア生活とは、主体的に人生を切り拓き共に生きる社会を創造する、クリエイティブな21世紀のライフスタイルなのだ...」参加者たちが学校での生活だけでなく、大きな社会へ勇気をだして飛び出していくことの大切さ、自分自身の能力を肯定的にとらえ、生きる喜びを求めていくことを学びました。



開会式

樋口久美子先生に、参加者のお互いのコミュニケーションを活発にするため、アイスブレイキングを実施していただきました。段々と参加者もお互いに打ち解け合い、熱気が伝わってきました。いよいよ留学生と合流、7つの分科会毎の活動が始まります。

7つの分科会活動からの報告

~ 高校生が自ら創造する「自分たちができること」

ボラキャンのメインイベントである分科会、それは、高校生が主体となって自らが課題発見を行い、作り上げていく活動です。次の7つの分科会を実施しました。

第1分科会 社会マナー

~ 実行委員 内尾晶子さん、藤木あみさん(熊本高校) :

社会マナーをコミュニケーションという観点から話し合いました。言葉以外に、身体表現、顔の表情、空間・間合いの取り方(パーソナルスペース)、色など、コミュニケーションに欠かせない要素があること、それが国により違いがあり誤解を生じることもあることを知りました。そんな中、一番大切なことは、SMILE(スマイル)です。

第2分科会 思いを形に

~ 実行委員 澤野未沙さん、田島紫月さん、小原麻衣さん(熊本高校) :

障害について、障害者の立場になって体験(車イス)をすることで理解し、住まい、こころ、まち、もの、情報、社会、交通.. 様々な視点からバ

CONTENTS

国際ボランティアワークキャンプ in ASO1・2P
NGO最前線3P
事業団からのお知らせ・国際掲示板4・5P

世界を知る6P
未来のために7P
ちょっと日本語・きふプロ8P

リアフリーについて話し合いました。ベルトコンベア椅子、コンセントカバーなど斬新なアイデアが出ました。そして、意識のバリアフリー化を進めていくことを誓いました。

第3分科会 ボランティア

～ 実行委員 渡辺彩水さん、中村遥奈さん(熊本高校)：

ボランティア、その基本に返って、人との出会いや楽しさや苦しさを共有することの大切さを学びました。そこから生まれてくるみんなの笑顔がある。何かを行動に移すことが大切である、書き損じハガキ、エコキャップを題材に話し合う中、外国人の方との会話ボランティア、河川の清掃、フリマやイベント、壁に大きな絵を描く、新たなアイデアが出てきました。

第4分科会 わたしたちの地元食

～ 実行委員 戸野本昌大君(熊本高校)前川玲奈さん、緒方菜津美さん(必由館高校)

中国、韓国、ブラジル、フランス、インドネシア、マレーシア、そして日本の食文化を、みんな大好きなピザで表現しました。楽しく、美味しい！一方、国による食文化の違いに驚き発見がありました。食の安全性、食糧自給率、農業の重要性からみてきた私たちの食文化を守り愛することは、色々な国の食文化を尊重することにもつながっていきます。食にもっと関心を持ちましょう。

第5分科会 多文化共生

～ 楊雨明君、山村亜唯尊君(東陵高校)、張炳航君、姜超倫君(北高校)、沼ゆうきさん、濱田真梨子さん(熊本高校)

異なる言語環境に自分自身をおいてみる、母語なら簡単な算数が如何に難しいか！を身をもって体験してみました。日本国内の方言でも分からないことがある。熊本で生活する外国籍生徒の作文を読みながら、私たちの社会も、もう多文化社会であることを知り、お互いの文化を受入れながら、理解し合い助け合うためにできることを話し合いました。報告会では、参加者全体で「We are the world」を合唱しました！

第6分科会 水守になろう！

～ 吉村絵美さん、中原友里恵さん(熊本高校)

「水」～ 熊本に暮らして不自由を感じたことはない。安全な水が何時でも飲める環境、幸せに感謝しつつ、世界の水の現状について話し合いました。量や質に加え、農業、工業に使用されるバーチャルウォーターについても考えました。水を守るためにできること → まずは、出しゃなし禁止！

第7分科会 情報発信

～ 大坪由美さん、越智彩さん(熊本高校)、末永宜草君(北高校)

何かを始めたい、ボランティア活動をしたい高校生に情報を届け、そしてそんな活動を発信するためのウェブコミュニティづくりについて

話し合いました。写真を入れよう、書き込みできる掲示板、多言語にしよう、地域情報を入れよう.. 様々なアイデアが出て、ホームページを作成しました。チェックして下さい！

http://www.geocities.jp/aso_highgroupware/index.html

<http://smilestation.blogzine.jp/> (ブログ)

進化するボラキャン、今後へ向けて

第4回目のボラキャンを終え、参加者の積極的な行動力が印象的でした。近年の高校生生活はさまざまな管理・競争・市場経済社会の歪みの中にあります。おそらく、疎外感に押しつぶされそうになることも多々あることでしょう。そんな社会で、ボランティアにおける「自発性」「無償性」「公共性」「先駆性」を全うすることは、おとぎ話のようなことかもしれません.. それでも、心をこめてメッセージを贈りたい～「みんなは、その個性に応じて、必ず限りない可能性を秘めている。信じていけば、かならずその灯は消えることはないということ。(興梠寛先生の言葉より)」

すべての高校生には、秘められた可能性とその輝きがあります。ボラキャンは、そんな高校生が社会において自らの役割と責任を発見できるよう、高校生自らの取り組みを応援していきます。

そして、もう第5回ボラキャンの企画が始まろうとしています。開催は、来年8月、阿蘇青少年交流の家の予定。企画会議は、国際交流会館で毎月第3土曜日午後2時から.. 実行委員をやってみたい高校生を募集します。詳細はホームページ、ブログをご覧ください。

最後に、ボラキャンでの素敵な時間と感動を与えてくれた実行委員をはじめとした高校生、留学生、そして愛情あふれるサポートをしてくれた大学生と団体の皆さん、すべての関係者の方々に心より感謝を申し上げます。ありがとうございました、スマイル!!



第4分科会



第7分科会

ボラキャン・データ：

主催：国際ボランティアワークキャンプ実行委員会

高校生、高等学校教員、および、主催構成団体

株式会社近代経営研究所、熊本ユネスコ協会、独立行政法人国際協力機構九州国際センター

国立阿蘇青少年交流の家、株式会社日本リモナイト

財団法人 熊本市国際交流振興事業団(事務局)

後援：熊本県教育委員会、熊本市教育委員会、熊本日日新聞社、日本ボランティア学習協会

協力(助成)：社団法人日本ユネスコ協会連盟、財団法人中島記念国際交流財団

ニューヨークで
11年の実績と信頼を誇った
音楽学校、熊本に上陸。



〒862-0924

熊本市市山3丁目17-11

TEL: 096-297-9323

E-mail: lammymusic@ac.auone-net.jp

<http://www.lammymusic.com/>



LAMMY MUSIC

ヨーナポトウ キーヴァーノク(こんにちは)!

熊本県ハンガリー友好協会
理事・事務局長 大城 純市

2009年、日本はオーストリアと外交関係開設140周年、ハンガリーと外交関係開設140周年及び外交関係再開50周年、ルーマニアとブルガリアとは外交関係再開50周年という節目となる年を迎え、これらの国々がドナウ川流域にあることから、本年を「日本・ドナウ交流年2009」と位置づけました。

このドナウ川は、ドイツのシュバルツバルト(黒い森)に源を發し、最下流、黒海に注ぐブルガリアまで、オーストリア、ハンガリー、クロアチア、セルビア、ルーマニアの領域を流れる国際河川です。美しき青きドナウ、ドナウのさざなみ、ドナウの旅人など音楽、文学等で何処かで聞いた響きのある川です。

このような中、今回、「ドナウ川流域ロマンチックNIGHT」を計画中の熊本県ハンガリー協会に活動を紹介いただきます。

平成16年3月熊本伝統工芸館にて「ハンガリー彫刻と伝統彫刻交流展」が開催されました。開会式に駐日ハンガリー共和国特命全権大使が出席され、その後交流会の席で、熊本県にもハンガリーとの友好協会を設立してほしいとの話があり、崇城大学学長・中山峰男氏を中心に設立準備を進めて参りました。そして思いがけなく、ハンガリーとの国交樹立140周年、外交回復50周年という記念すべき年である、本年6月11日(木)駐日ハンガリー共和国特命全権大使ボハール・エルマー氏をお迎え致し、KKRホテル熊本で、130名のご出席をいただき盛大に「熊本県ハンガリー友好協会」を設立することができました。出席者の



数十名はハンガリーを訪れた経験をお持ちでしたが、殆どの人達にとってハンガリーは未知の国であり、ハンガリーが一体ヨーロッパのどこに在るかで存じありませんでした。

しかし大使からハンガリー国についての紹介があり、講演後の交流会では異口同音に「是非ハンガリーに早く行きたい。」という参加者の合唱になりました。又、「ぜひ阿蘇くまもと空港よりチャーター便を出したらどうだ」との話も出てきました。

ハンガリーには世界遺産が多く存在し、特にお勧めしたいのは首都ブタペストの街です。中でもブタの丘からベストの街を眺めた風景はすばらしいパノラマです。こんなに中世の古い街がこの世に残されていたかと、未だにその時のカルチャーショックが忘れられません。私たちとDNAを同じくするヨーロッパで唯一のアジア民族、そして親日国家、くにハンガリーに対して親しみが湧いてきます。

又、当会の特典は毎年毎年「年会費」を支払う必要がなく、一度の入会金(個人会員・千円)で永久会員になれることです。そしてハンガリーという国を知ることにより、あなたの新しい人生がひとつ開かれます。今すぐ当協会にご加入下さい。

尚、当協会の次の事業活動として、この12月10日(木)に熊本市国際交流会館にて、当協会と(財)熊本市国際交流振興事業団が主催し、熊本日独協会、熊本ルーマニア協会、熊本モーツァルト協会、熊本ブルガリア協会に共催いただきドナウ川の水源ドイツのシュバルツバルト(黒い森)から川の最下流黒海に注ぐブルガリアまでのドナウ川の流れに沿った「ドナウ川流域ロマンチックNIGHT」を開催します。是非皆様のご参加を心からお待ち致しております。

熊本県ハンガリー友好協会
TEL.096-359-0805(和の國內)

※ KDSは、お客様満足の向上と社会への貢献を目指しております。

貴方の運転は 普通・普自二・大自二

クイックコース募集中
限定30名

熊本ドライビングスクール



熊本市楠6丁目6-25
☎ 0120-373-634
URL <http://www.k-ds.net/>

KDS から始まる



◆インターナショナルサロン◆

気軽に国際交流が楽しめる大好評のインターナショナルサロン。11月、12月の予定は下記のとおりです。お申し込みは毎月1日から。1日が土日祝日と重なった場合は、翌平日からの受付となります。お早めにご予約下さい。参加費は各300円です。

定員：各18名

場所：熊本市国際交流会館2Fミーティングルーム

時間：(1)～(6) 14:00～15:00、18:30～19:30

(7)～(8) 14:00～15:00

(9) 18:00～19:00

(1)アメリカサロン	11月12日(木)、12月10日(木)
(2)ドイツサロン	11月19日(木)、12月17日(木)
(3)中国サロン	11月26日(木)、12月24日(木)
(4)英語サロン	11月16日(月)、12月8日(火)
(5)ドイツ語サロン	11月17日(火)、12月15日(火)
(6)中国語サロン	11月30日(月)、12月22日(火)
(7)中国語を学ぼうサロン	11月20日(金)、12月18日(金)
(8)韓国語を学ぼうサロン	11月27日(金)、12月25日(金)
(9)フランス語サロン	11月20日(金)、12月18日(金)

◆つきいち世界を知ろう!◆

小中学生を対象に、月一回世界中のおもしろい習慣や風習を体験したり、歴史について学びながらもっと世界を身近に感じてもらうイベントです。参加無料!

11月のつきいち世界を知ろうは、こども「ものづくり」教室と同時間開催です。右記をご参照下さい。

12月のテーマは

“アジアの食と文化編”第3回 タイ風ラーメン作り

小中学生が異文化理解の促進を図るために毎月開催している「つきいち世界を知ろう」の一環として、今年度は4回にわたり、「アジアの食」を通して外国文化を体験するプログラムを実施します。第3回目となる12月はタイ風ラーメンを作ります。

日 時：12月19日(土) 10:00～12:00

場 所：熊本市国際交流会館4F 第3会議室

定 員：60名(30組)

対 象：小学生とその家族

参加方法：12月1日(火) 9:00から申し込み受付開始

◆こども「ものづくり」教室◆

毎月1回、「ものづくり」を通して、子ども達の無限の創造力を引き出し、豊かな心を育てます。一つのものをつくるという活動を通して文化、習慣の違う在住外国の方々といふれあい、交流を深めます。熊本ものづくり塾と共同開催です。参加無料!

11月の作品「ケナフのクリスマスツリー」

※「つきいち世界を知ろう」と同時開催

日 時：11月22日(日) 10:00～12:00

場 所：熊本市国際交流会館B2F多目的ルーム

定 員：30名(先着順)

対 象：小中学生とその家族

参加方法：11月2日(月) 9:00から申し込み受付開始

12月の作品「い草のミニ門松」

日 時：12月20日(日) 10:00～12:00 14:00～16:00

場 所：熊本市国際交流会館B2F多目的ルーム

定 員：各50名(先着順)

対 象：小中学生とその家族

参加方法：12月1日(火) 9:00から申し込み受付開始



◆パネル展示◆

熊本を拠点に活動するNGO/NPOなどが、日頃の活動の様子を紹介するパネル展を開催いたします。11月から12月にかけては以下の内容で開催いたします。

■「パレスチナ・ガザ地区の今」大月啓介の世界(写真展)

日 時：11月1日(日)～15日(日) 9:00～22:00

※最終日は17:00まで

場 所：国際交流会館1F エントランスロビー

入場料：無料

主 催：アムネスティ・インターナショナル熊本グループ

内 容：中東を中心に活動するフリージャーナリスト大月啓介氏が、今だ紛争が絶えないパレスチナ・ガザ地区で、たくましく暮らす人々の生活の様子などを紹介する写真展です。

■「中華人民共和国建国60周年記念写真展」

日 時：11月16日(月)～30日(月)

9:00～22:00 ※最終日は17:00まで

場 所：国際交流会館1F エントランスロビー

入場料：無料

主 催：熊本地区中国留学生会

内 容：中国建国60年の歩みを示した写真約50枚で紹介いたします。

■ハンガリー共和国紹介写真展

日 時：12月1日(火)～13日(日)

9:00～22:00 ※最終日は17:00まで

場 所：国際交流会館1F エントランスロビー

入場料：無料

主 催：熊本県ハンガリー友好協会

内 容：今年5月に発足した同協会による、ハンガリーを紹介した写真展です。関連イベントも開催します(P3の記事をご覧ください)

◆世界の現状を知ろう◆

NGOや青年海外協力隊OB、在住外国人などを講師として招いて、世界の様々な国や地域の文化、人々の生活などを紹介するサロンです。新たな発見をしてみませんか。

11月 ～パラグアイ共和国における野菜事情とプロジェクト技術協力～

日 時：11月28日(土) 14:00～15:00

場 所：国際交流会館2Fミーティングルーム

定 員：15名

対 象：どなたでも

参 加 費：無料

講 師：JICA専門家 石島 嶺(たかし)氏

参加方法：11月2日(月) 9:00から申し込み受付開始

12月 ～ドミニカ共和国～

日 時：12月19日(土) 13:00～14:00

場 所：国際交流会館2Fミーティングルーム

定 員：15名

対 象：どなたでも

参 加 費：無料

参加方法：12月1日(火) 9:00から申し込み受付開始

◆英国式ベビーマッサージ◆

親子で国際交流を体験しませんか?英語で学ぶ0歳児からのコミュニケーション。イギリス出身のアドラー・コリンズ・慈観氏(県立福岡大学准教授)を講師に迎え、英国式ベビーマッサージを学びます。赤ちゃん心身の発育を良くするだけでなく、親子間の絆も深まりますよ!

場 所：国際交流会館B2F多目的ルーム

定 員：20組

対 象：生後3カ月～1歳半までの赤ちゃんとその保護者

参 加 費：2,000円

日 時：11月16日(月) 10:00～11:00

参加方法：11月2日(月) 9:00から申し込み受付開始

日 時：12月21日(月) 10:00～11:00

参加方法：12月1日(火) 9:00から申し込み受付開始

◆イベント◆

桂林30周年記念事業 ～もっと中国を知ろう!～

熊本市・桂林市友好都市締結30周年を記念し、熊本県日中友好協会と共催で、毎月1回、留学生等と一緒に料理や中国の風習を体験するイベントを開催しています。

11月の内容 豆腐団子づくり、卓話(少数民族の料理)、中国映画の紹介「スパイシーラブスープ」

日 時:11月22日(日)11:00～15:30

場 所:国際交流会館4F第2会議室

定 員:25名

対 象:どなたでも

参加費:無料(但し、料理教室参加者は材料費として200円徴収します。)

参加方法:11月2日(月)9:00から申し込み受付開始

12月の内容 粉蒸肉づくり、ミニセミナー(大晦日の過ごし方)。

日 時:12月20日(日)11:00～13:30

場 所:国際交流会館4F第1会議室

定 員:25名

対 象:どなたでも

参加費:無料(但し、料理教室参加者は材料費として200円徴収します。)

参加方法:12月1日(火)9:00から申し込み受付開始

こころコンサートイン熊本 ～みなさんと共に音楽で感動と交流を～

国内や海外で、病気で苦しむ子供たちを支援するため、チャリティコンサートを開催いたします。また、途上国のワクチンを届けるためペットボトルのフタ回収にもご協力ください。

日 時:平成21年12月19日(土)14:00～16:00

場 所:国際交流会館2F交流ラウンジ

参加費:無料(ご賛同いただける方は、募金にご協力ください)

内 容:ハンドベル演奏/クリスマスソング/生ギターの演奏など

出 演:保健科学大学Lovers/県難病相談・支援センター/山崎バンド/ザハート

参加方法:直接来館

世界を良く知るセミナー「ドナウ川流域ロマンティック NIGHT」

本年は、日本とドナウ川流域に位置する4ヶ国、オーストリア、ハンガリー、ルーマニア、ブルガリアなどとの外交関係上の記念周年になります。これにドナウ川の源流があるドイツも交えて、「ドナウ川」をテーマにセミナーや、楽しい音楽や舞踊などのイベントを開催いたします。2部のイベント参加者にはワインの試飲やチーズが出ます。

日 時:平成21年12月10日(木)

19:00～21:00(18:30開場)

場 所:国際交流会館6Fホール

内 容:1部 駐日ハンガリー大使によるセミナー

2部 ドナウ川流域ロマンティック NIGHT～ドイツ、オーストリア、ハンガリー、ルーマニア、ブルガリアを訪ねて～

参加費:1,000円(但し、1部のセミナー参加のみは無料)

主 催:熊本県ハンガリー友好協会

共 催:熊本モーツァルト協会/熊本ルーマニア協会/熊本ブルガリア協会

協 力:熊本日独協会

参加方法:11月2日(月)9:00より電話受付開始

備 考:関連でハンガリーを紹介したパネル展も開催します。

クリスマス・チャリティ・マーケット2009

欧州などでこの時期の風物詩『クリスマスマーケット』を開催します。文化や音楽の紹介をはじめ、収益の一部は施設の子ども達へのチャリティとなります。

日 時:平成21年12月12日(土)11:00～21:00

13日(日)11:00～17:00

場 所:国際交流会館公開空地

参加費:無料(物品販売は有料となります)

共 催:熊本日英協会、他

参加方法:どなたでもご自由にご来場ください

◆ロングステイセミナー◆

人生の余暇を海外の国での生活し、その国の文化や習慣を楽しみながら国際親善を図ってみませんか?永住でも、観光旅行でもない新しい海外での過ごし方を紹介します。

日 時:11月22日(日)14:00～15:30

場 所:熊本市国際交流会館4F 第3会議室

定 員:50名

対 象:どなたでも(高校生以上)

参加費:無料

参加方法:11月2日(月)9:00から申し込み受付開始

◆国際交流イヤーエンドパーティー◆

今年もやってまいりましたイヤーエンドパーティー!今年のテーマは「Let's Expand your world」。いろんな国の友達を作って自分の世界を広げよう!2009年の最後にみんなで楽しいひと時を過ごしましょう。

日 時:12月13日(日)17:00～19:30

場 所:熊本市国際交流会館6Fホール

定 員:200名

対 象:市民及び在熊外国人

参加費:一般2,000円、学生1,000円

参加方法:11月2日(月)9:00から申し込み受付開始

国際掲示板

多文化共生をめざす映画とアピールの集い

韓国の未登録労働者の問題を描いた「グッドバイテロリスト」(37分 劇映画)、韓国の国際結婚家族の問題を描いた「シャバン シャババン シャララ」(17分 アニメーション映画)、熊本県内で起きた事件を描いたドキュメンタリー報道番組「井上家の裁判」(50分 RKK製作)、「研修制度の間」(12分 TBS製作)の上映と移住(労働)者の自身からの訴え。

◇日時:12月13日(日)15:30～19:00

◇場所:パレアホール(熊本県民交流館 パレア 10階)

◇参加費:無料

◇問合せ連絡先:コムスタカ～外国人と共に生きる会096-383-4136



世界を知る It knows the world.



ボイサ島の子ども達

新しく JICA デスク熊本を担当することとなりました。私は、2006年3月より2008年3月までの2年間、青年海外協力隊でパプアニューギニアのマダン州というところで、観光促進の活動を行っていました。第2次大戦中、最も過酷な戦場であったことで有名な地域として知られていますが、現在では大変自然に恵まれた伝統文化の豊かな地域で、多くの観光客が訪れるようになりました。特に、サンゴ礁の美しい海は、シュノーケリングやスキューバダイビングをする方にはたまらないところです。そして、世界的にも希少価値の高い植物や動物、また極楽鳥というカラフルで美しい羽を持つ鳥達が生息する地域です。また、800以上の言語があるとされ、それぞれの部族独自の伝統文化が今なお受け継がれています。

協力隊に参加した2年間、日本とは全く異なる環境、異なる言語、異なる文化で現地の人たちと活動したことは私にとってとても貴重な経験となりました。その経験を活かして、多くの人に世界のことを知っていただき、外国から来ている方々との交流を楽しんでいただきたいと思います。と同時に、世界には多くの開発途上国があり、貧困に苦しんでいる人々がいます。そんな人々がいるということを多くの人々にまずは知っていただき、国



このページは世界を知るをテーマに「国際協力」については、独立行政法人国際協力機構(JICA)デスク熊本のご協力を得て、日本で生活する私たちには日常知ることができない興味深い世界の状況を紹介いたします。

JICAデスク熊本 (国際協力推進員)

木下 俊和

国際協力に対しての理解を深めていただきたいと思います。そして、小さな一歩でも世界中の多くの人々を救うためのお手伝いができればと思います。日本も世界の中のひとつです。日本もかつては開発途上国でした。日本も外国からの援助によって今の経済大国としての地位に立っているということを知った上で、他の国が発展するよう、苦しんでいる人たちが救われるよう活動していかなければならないのではないのでしょうか。

少し堅苦しいことを申しましたが、まずは楽しく国際協力のことを学んでいただけるよう、いろいろなイベントやセミナーを企画してまいりますので、お気軽にご参加いただけたらと思います。また、国際交流会館に常駐しておりますので、ぜひ遊びにきてください。

お待ちしております。



マダンラグーンの美しい海



Contact Us

TEL: 096-324-1261

E-mail: info@art-i.jp



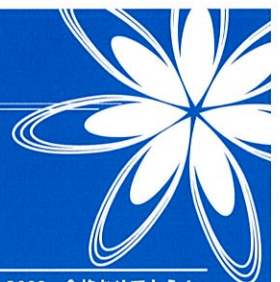
心にずっと温めていた将来への夢や
人生を楽しく生きていくための自己実現への
第一歩を『Art-i』で見つけてみませんか。

Life is your story

Career Design School『Art-i』

キャリアデザインスクール アート・アイ

- **就職内定コース**
就職内定まで追加料金なし TOEIC&英会話 12ヶ月間受講料込み
- **サービス英会話**
元国際線 CA よりエアライン・ホテル業界を目指すあなたへ
- **おうち English**
英語で子育てしたいママのためへ
- **スコアアップ TOEIC**
「逆転の発送」が可能にするスコアアップ TOEIC 講座
- **海外留学コーディネーター**
留学前、留学後の就職活動までをトータルコーディネーター
- **魅力アップ講座**
人生を豊かにする自分スタイルを見つけるために



2009 合格おめでとう!
スカイネットアジア航空 CA

合格実績

KLMオランダ航空(国際線CA)/JALウェイズ(国際線CA)/JALウェイズ(国際線CA)/ANAエアジャパン(国際線CA)

全日空ホテルニュースカイ/リゾートラ スト東京ベイコートクラブ/熊本ホテル キャッスル/ザ・リッツ・カールトン東京/JALグループ中部スカイサポート/くまもと経済/RKKラジオミミキャスト

未来のために

ここでは、私たちの未来を考える上でとても重要な視点である共に生きる社会、多文化共生について
 専門家である羽賀友信さんにシリーズでご寄稿いただいています。

「災害復興からみた自立支援」

10月17日に長岡で中越大地震5周年事業として、「被災地市民サミット」と「防災・安全・復興に関する国際シンポジウム」が連動して開催されました。副題は「思いの絆で世界を繋ぐ」であり、日本と世界の被災地から多くの方が参加し、災害から得た知識を共有することができました。

シンポジウムは、6分科会が行われ、私は「被災者支援の有り方」を担当しました。被災者支援は、被災者の自立支援が大切だといわれ続けています。しかし日本において、被災者の自立支援の概念的な共通認識はあるものの、具体的な内容の議論は、未だなされていません。そこで、近年の海外の大規模災害における支援活動の事例を通じて、被災者の自立支援とは何かを議論しました。

現在も四川大地震で発災後3日目から現地支援に入った吉椿雅道氏（COED 海外災害援助市民センタースタッフ）は、日本と中国のどちらが母国かわからないほど、現地住民と深い信頼関係を築いています。礫の撤去を手伝いながら、住民の苦しみ・価値観・伝統を理解し、彼らが誇りを持てる復興の手法を模索しました。彼らの活動を受け、支援される側の住民がボランティアのまかないを作るボランティアをはじめたことが、心が復興したことの証明であると述べていた。

住宅の再建は、地域にあった住居の再建を実施している胡昂氏（四川大学建築家助教授）が事例を紹介した。伝統の尊重をしながら新しい部分を付け加える形で、家の再建が進んでいる。被災地住民が自ら考え、話し合い決定するプロセスが生まれている。復興の中心として、日本の寄付により建設されたコミュニティーセンターは、役場機能と診療所機能を有し、伝統と最新の構造を組み合わせた設計がされている。

また、紛争地の復興支援も自然災害と変わらないと、アフ

ガニスタンの農業支援をおこなっている尾澤良平氏（COED 海外災害援助市民センタースタッフ）は、その土地にあったものを業として確立させる支援をすることが住民の自立に繋がると葡萄の栽培を支援事例を紹介した。もともと葡萄はアフ



筆者：羽賀 友信さん
 長岡市国際交流センター「地球広場」センター長
 新潟NGOネットワーク顧問
 JICA地球ひろば 国際協力サポーター
 長岡市教育委員
 JICA専門家

ガニスタンから世界に広がったものであり、気候風土に適しており、育てやすいものであった。現在は治安が悪いため、現地直接の指導ではなく間接指導ではあるが、住民が生産組織をつくり収穫の安定を目指す、そして今まで話し合いをしなかった人々が、品質の向上について議論するようになっていく姿が復興であると感じていると語りました。

復興支援というと、新しいものを押し付けてしまいがちであるが、地域の伝統を活かすことが、持続可能性や自立支援に繋がるのではないのでしょうか。被災者が自分の文化・伝統に誇りを持ち、主体となって動くことが、災害で受けたトラウマの解消と希望へ繋がります。また支援者も被災者を理解し、双方向で大きな学びの循環が始まるとき、真の復興支援が立ち上がると思います。この手法は、海外のみならず、日本の少子高齢化や中山間地の活性化にも通じるものだと確信しました。

インドネシアの事例は次回で展開したいと思います。

NPO法人 日本教育相談研究所『くまもと共育会T.T』 主宰 小中学生学習者支援センター〈土曜・日曜学習コース〉

☆ 「学校へ行けない、教室に入れない、でも、勉強したい!」という小中学生のために、
 当会スタッフ講師が、「楽しい授業」「やる気の出る勉強」を一緒に行っていきます。

《対象者》

小中学生

- ◇経済的な理由で、通塾が困難な児童・生徒
- ◇不登校の児童・生徒（⇒在籍小中学校と連携）
- ◇個別指導を必要とする児童・生徒

《指導教科》 国語・数学（算数）・英語・社会・理科 ※都合の良い時間帯で受講科目を選択!

《会費》

	会費	備考
入会金	1000円	
月謝	5000円	テキスト代も含む

【事務局】 小中学生学習支援センター（志成館ビル内）
 NPO法人 日本教育相談研究所 『くまもと共育会T.T』

TEL 096-366-1080

〒862-0973 熊本市大江本町7番3号

志成館高等学院も『くまもと共育会』を応援しています。



日本航空高校【熊本キャンパス】 志成館高等学院

〈ホントウの勉強がしたくなくなった〉

平成21年度(新入生・転入生・編入生)受付中!

募集対象: [中学卒(新卒・既卒)・転校(転入・編入)希望者]

[授業料は負担の少ない月謝制を導入]

- 特典 ●各種奨学金制度 ●各種資格取得
 ●特待生制度 ●全国大学・専門学校推薦制度

社会に出れば、すぐに役立つ! 「使える勉強」を教えます。
 しかも、高卒 **日本航空高校** の学歴取得を支援します。
 あなたも新しい扉を開いてみませんか?

熊本本校

0120-08-3730

〒862-0973 熊本市大江本町7番3号

熊本県教育委員会指定技能教育施設

<http://www.siseikan.net> 資料無料送付



ちよつと Japanese Tip

日本語

「ちよつと」って何？

日本語指導アドバイザー 小川ひろみ

このコラムのタイトルの「ちよつと」の意味を私たちの日常の使用場面から考えてみましょうか。

- ①「ちよつと、こっちきて」と上司に呼びかけられて行ってみると、
- ②「これ、ちよつとやって」と軽く依頼されて
- ③「私にはちよつと・・・」と上司の依頼を丁寧に断り、
- ④「ちよつと大変ですよ。」と問題の程度が大きいことをいう。

つまり、「ちよつと」を少ないことにも多いことにも、さらに不可能なことや丁寧に断りにも使っているわけです。「ちよつと」は実は「ちよつと問題」でこの「ちよつと」を「わずか」と考えるか、「かなり」と考えるか、つまり「ちよつと」の答えは私たちの気持ちの中にあるということでしょうか。

きろぷろ

「外国人と防災」

10月13日(火)、熊本市国際交流会館で、外国人のための防災訓練が開催されました。最初に仙台市が作成した外国人のための震災情報に関するDVDを視聴しました。(やさしい日本語版、途中、「亡くなった」ではなく、「死んだ」と直接的な表現...なるほど、こちらの方が理解しやすいですね) DVDを見た後、消火器訓練、119番通話訓練、ロープの結び方訓練を行いました。消火器訓練では、「火事だ～」のかけ声と一緒に消火活動...ロープ結びは、2つの結び方を学びました。そして、問題の119通報訓練「火事」か「救急」か...住所、名前をゆっくりはっきりと伝える...これが、なかなか難しい...焦れば焦る程...早口となり伝わらない...この119番通報は、外国人にとって課題として残りました。体験した外国人の方々も不安に感じられていました。解決策として1つは電話を受ける消防側で、多言語対応ができる体制をとること...もう1つは、外国人の方々へ日本語での生活オリエンテーションを行う、さらに定期的な防災訓練を行うことなどが必要となるでしょう...
※防災訓練の後、避難所体験(アルファ米での炊き出し)とワークショップ(自分の住む町の危険なところ確認)を行いました。

☆平成21年度 賛助会員募集!!☆

(財)熊本市国際交流振興事業団では賛助会員を募集しています。当事業団の活動にご理解とご支援をいただくと共に、さらなる国際交流や国際協力の輪が広がることを願っています。会員の方々には、事業団の機関誌『ニュースレターくまもと』の送付や様々な情報の提供をさせていただきます。また、Denkikan様のご協力により映画鑑賞料金の割引特典や当事業団主催講座の受講料会員割引特典もあります。

- ①個人会員 一口 2,000円/年(一口以上)
 - ②団体会員 一口 10,000円/年(一口以上)
- 平成22年3月までの会員期間となります。

<入会のお申し込み・お問い合わせ>

(財)熊本市国際交流振興事業団事務局
〒860-0806 熊本市花畑町4-8 熊本市国際交流会館
TEL:096-359-2020 FAX:096-359-5783
e-mail:ad-info@kumamoto-if.or.jp

皆様継続・新規加入ありがとうございました(平成21年6月11日~8月10日ご加入の方)(個人)50音順(敬称略)

井手 州子	川崎貴代美	園田 昭仁	時里ヒロ子	平山 正也	安永 忠正
岩崎奈帆子	河野 晃子	竹田 和子	永田 剛毅	平山ひかる	芳本 雅彦
宇山奈津子	神田 詩朗	岳中 耐夫	馬場憲一郎	福多美奈子	
緒方ル・ダミラ	神原 節生	竹山 雅大	馬場 節子	松田 俊治	
金谷隆一郎	古賀 徹	出口 路子	林 あずさ	宮本あずさ	

私たちは熊本の国際交流活動を応援しています! (団体)50音順(敬称略)

阿蘇ハイランド開発 株式会社	熊本バス(株)	㈱ニクスカイホテル
学校法人 鎮西学園	熊本旅行(株)	国立大学法人 熊本大学 国際部・国際課 奥松由華
熊本学園大学	㈱興民百貨店	崇城大学
熊本市川尻校区婦人会	㈱コスギ不動産	西日本電信電話㈱熊本支店 総務部
熊本交通センターホテル	株式会社 サンカラー	福田病院
熊本市地域婦人会連絡協議会	㈱JTB九州 熊本支店	北翔工業(株)
くまもと21の会	㈱熊本自動車教習所	(有) ビジネスマン新熊本ホテル
熊本日本協会	㈱鶴屋百貨店	



- 熊本空港より 車で45分
- 熊本交通センターより 徒歩3分
- 熊本市電より熊本城前下車 徒歩3分

from Kumamoto Airport-45minutes by car
from Kotsu Center-3minutes walk
By Tram-3minutes walk from the?Kumamoto jou mae?stop

熊本市国際交流会館 国際交流サポートセンター

開館時間 平日 午前9時~午後8時
土、日、祝日、午前9時~午後7時
休館日 第2・第4月曜日、年末年始(12月29日~1月3日)
多文化共生オフィス(午前11時~午後6時) 096-359-4995(直通)
Civic Support Center for International Exchange and Cooperation
Service Hours: Monday to Friday 9:00 a.m.-8:00 p.m.
Saturday, Sunday, National Holidays 9:00 a.m.-7:00 p.m.
Closed: 2nd and 4th Mondays of each month
Multicultural affairs office (11:00a.m.~6:00p.m.)